

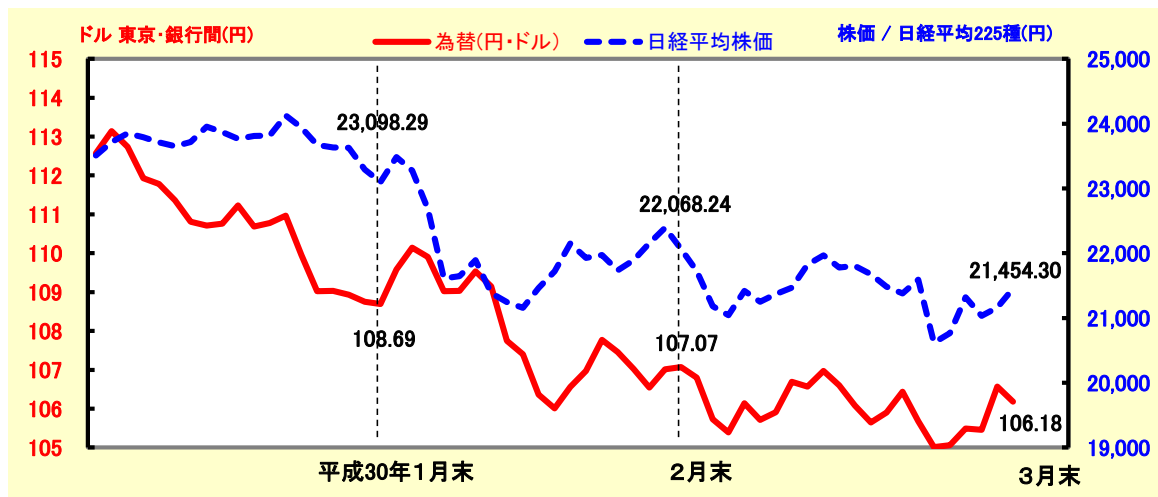
みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 平成30年1月～3月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

平成30年1～3月期の業況/平成30年4～6月期の業況予想

今回の調査実施時期

平成30年3月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	61先
卸売業	25先	サービス業	60先
建設業	22先	不動産業	16先

調査方法

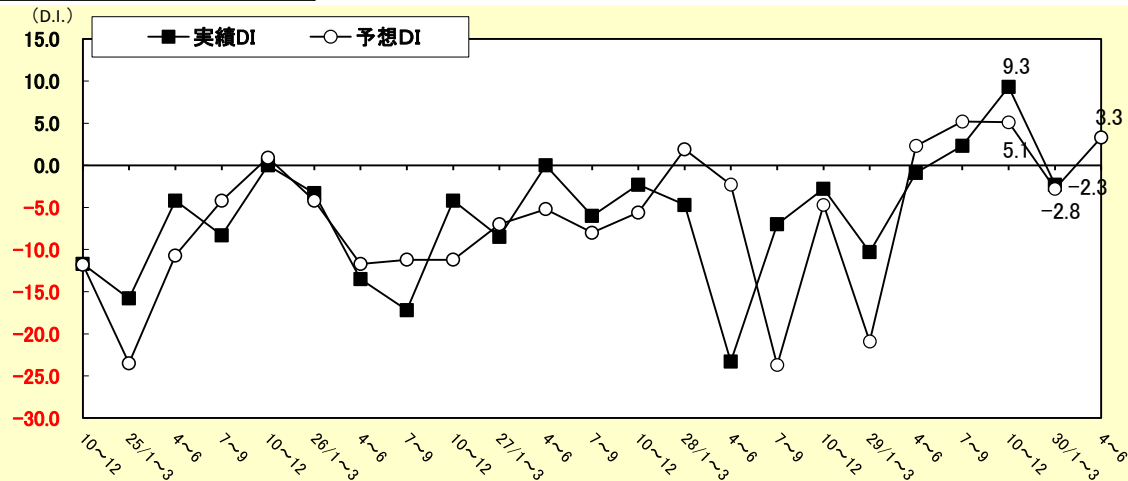
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



		1~3月期実績				4~6月期予想			
		総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総 合	台								
		▲2.3	1.1	▲13.3	12.5	3.3	0.0	6.0	5.0
製 造 業									
		▲6.4	0.0	▲40.0	0.0	6.4	0.0	40.0	0.0
小 売 業									
		▲10.1	3.8	▲28.0	0.0	6.7	11.5	4.0	0.0
卸 売 業									
		▲48.0	▲66.6	▲70.0	16.6	▲16.0	▲22.2	▲30.0	16.6
サ ー ビ ス 業									
		10.0	3.5	14.2	25.0	1.6	▲14.2	14.2	25.0
建 設 業									
		27.2	60.0	22.2	12.5	18.1	40.0	22.2	0.0
不 動 産 業									
		17.6	28.5	▲16.6	50.0	0.0	14.2	▲16.6	0.0

1月～3月の県内経済概況

(当金庫景気動向調査まとめ)

1月～3月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは▲2.3となり、前期比11.6ポイント下降となっています。

業種別の状況は、製造業は▲6.4となり、前期比25.7ポイント下降、小売業は▲10.1となり、前期比0.1ポイント下降、卸売業は▲48.0となり、前期比56.0ポイント下降、サービス業は10.0となり、前期比8.3ポイント下降、建設業は27.2ポイントとなり、前期比13.7ポイント下降、不動産業は17.6となり、前期比29.3ポイント上昇となっています。

地域別では、別府地区が1.1となり、前期比8.8ポイント下降、大分地区が▲13.3となり、前期比18.0ポイント下降、県北地区が12.5となり、前期比5.0ポイント下降となっています。

業 種 別 景 況

製 造 業

● 当期(1月～3月)の景況

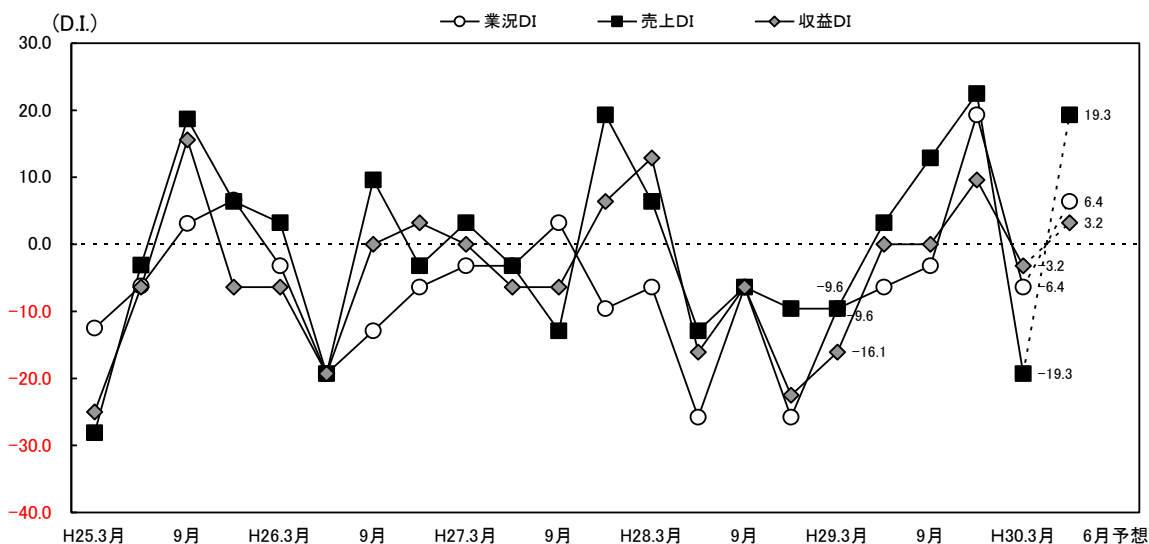
全域における業況DIは▲6.4となり、前期比25.7ポイント下降、前年同期比3.2ポイント上昇となっています。売上DIは▲19.3となり、前期比41.8ポイント下降、前年同期比9.7ポイント下降となっています。収益DIは▲3.2となり、前期比12.8ポイント下降、前年同期比12.9ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比12.5ポイント上昇、大分地区が▲40.0ポイントとなり、前期比40.0ポイント下降、前年同期比20ポイント上昇、県北地区が0.0となり、前期比60.0ポイント下降、前年同期比20.0ポイント下降となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは6.4となり、今期比12.8ポイント上昇となっています。売上予想DIは19.3となり、今期比38.6ポイント上昇となっています。収益予想DIは3.2となり、今期比6.4ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が0.0、大分地区が40.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	16.4%
原材料高	14.9%
同業者間の競争激化	10.4%
人手不足	10.4%
工場・機械の狭小・老朽化	8.9%

最重要経営施策

経費節減	22.5%
販路拡大	18.3%
人材確保	9.8%
機械化推進	8.4%
情報力強化	8.4%

経営者のみなさまの主なコメント

- 駅近くに立地し、顧客も多い老舗であるが、店主が高齢になったことから、事業の継続を検討中(和菓子・洋菓子店)
- 次期後継者が育っていることから、事業継承についての問題はない。(ざぼん漬)
- 原材料価格に変化はなく、売上・収益も変わらず推移している。今後は、経費節減を実施していく。(豆腐店)
- 3月までは大口の公共の仕事があったものの、4月以降、受注が減少するため、自費出版等の新たな業務を検討中(印刷業)
- 原材料に国産野菜を使用するため、天候不順の影響が大きく、今後、借入の予定あり。(漬物業)
- 原材料の価格上昇が経営に影響を与えている。特に、ベニヤ関係の値上がりが激しい。(家具店)
- 温泉施設であることから、天候不順による売上低下が大きい。今後、経営が安定してから温泉場に屋根を作る予定(温泉経営・弁当販売)
- 東京オリンピック開催までは好景気が続く予想している。(一般機械器具製造業)
- 売上は平年並みで推移。現在、商品の値上げを検討中(日用品販売)

小 売 業

● 当期(1月～3月)の景況

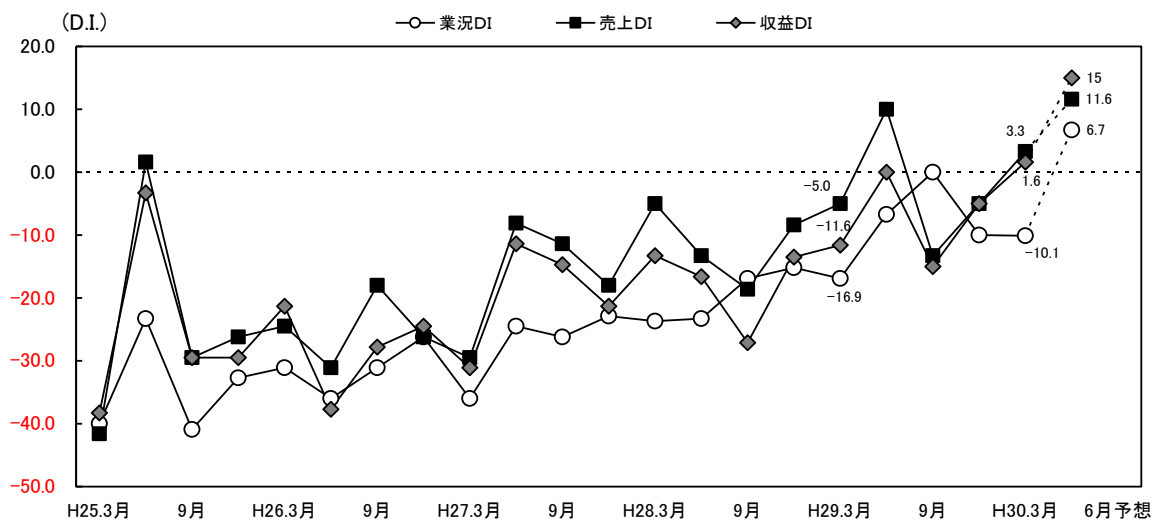
全域における業況DIは▲10.1となり、前期比0.1ポイント下降、前年同期比6.8ポイント上昇となっています。売上DIは3.3となり、前期比8.3ポイント上昇、前年同期比8.3ポイント上昇となっています。収益DIは1.6となり、前期比6.6ポイント上昇、前年同期比13.2ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が3.8となり、前期比7.6ポイント上昇、前年同期比15.8ポイント上昇、大分地区が▲28.0となり、前期比8.8ポイント下降、前年同期比2.7ポイント上昇、県北地区が0.0となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比12.5ポイント下降となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは6.7となり、今期比16.8ポイント上昇となっています。売上予想DIは11.6となり、今期比8.3ポイント上昇となっています。収益予想DIは15.0となり、今期比13.4ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が11.5、大分地区が4.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	18.8%
同業者間の競争激化	15.2%
大型店競争激化	14.4%
取引先減少	8.6%
商圏人口減少	5.7%

最重要経営施策

経費節減	53.5%
品揃え改善	28.5%
売筋商品取扱	28.5%
宣伝・広告強化	21.4%
店舗・設備改装	16.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- 年々、オール電化が進み灯油の売上が減少している。今年は県内産の米の出来がよかったが、売上に影響はない。(燃料小売業)
- 氷が主力商品のため、売上は季節の影響を受ける。(氷販売業)
- 一昨年の先代死去に伴い代表者が交代したが、家族従業員によるバックアップ体制も整っており、事業継続に懸念はない。(精肉等)
- 老舗の酒屋で地域内の顧客が大半である。商品の種類も豊富であり、こだわりの商品を揃えるなど、他店にはない商品を確保し、差別化を図っている。(酒屋)
- 冬の寒さが厳しかったことから、葬儀の受注が多く、葬儀以外の需要も悪くなかった。(生花鉢物販売業)
- 地区の高齢化と商店街にある大型スーパーが閉店したことで店前の人通りが少なくなった。気候の変動が激しいことから、季節物商品の仕入れが難しい。(衣料小売業)
- 主に、ホテルへ米を卸している。売上等に特に変化はない。(米販売業)
- 店内改装により昨年10日間程休業したことから、売上が減少した。1月から通常営業を開始し、売上増加に取り組んでいる。(食料品小売業)

卸 売 業

● 当期(1月～3月)の景況

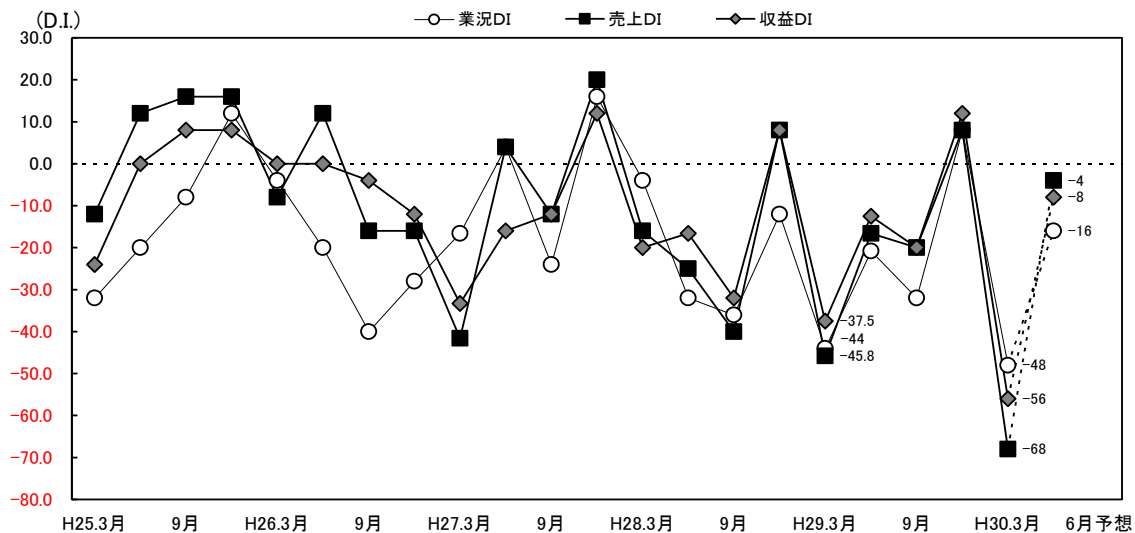
全域における業況DIは▲48.0となり、前期比56.0ポイント下降、前年同期比4.0ポイント下降となっています。売上DIは▲68.0となり、前期比76.0ポイント下降、前年同期比22.2ポイント下降となっています。収益DIは▲56.0となり、前期比68.0ポイント下降、前年同期比18.5ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲66.6となり、前期比55.5ポイント下降、前年同期比22.2ポイント下降、大分地区が▲70.0となり、前期比100.0ポイント下降、前年同期比0.0ポイントと同水準、県北地区が16.6となり、前期比16.6ポイント上昇、前年同期比16.6ポイント上昇となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは▲16.0となり、今期比32.0ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲4.0となり、今期比64.0ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲8.0となり、今期比48.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲22.2、大分地区が▲30.0、県北地区が▲16.6となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	17.9%
同業者間の競争激化	13.4%
取引先減少	10.4%
人手不足	8.9%
利幅縮小	8.9%

最重要経営施策

経費節減	26.7%
販路拡大	25.0%
情報力強化	14.2%
品揃えの充実化	8.9%
人材確保	7.1%

経営者のみなさまの主なコメント

- 大分県および宮崎県の土産品店・ホテル等に対し、着実に営業を実施している。(土産品卸売業)
- 原材料(竹)は東南アジアから輸入するため、為替レートの変動が経営に大きく影響する。(竹製品卸売業)
- 竹製品に対する需要低迷により売上が停滞している。また、仕入れにおいては、中国からの輸入に頼っているため、今後は、他国(インド等)からの輸入割合を増やそうと考えている。(竹製品)
- 建築業界との取引がメインであることから、建築業界または取引先の動向に大きく影響を受ける。(塗料)
- 自動印刷機の数増やし、人手不足の解消を図る予定。また、新たな取引先との事業を進めていく方針(カレンダー・うちわ)

サービス業

● 当期(1月～3月)の景況

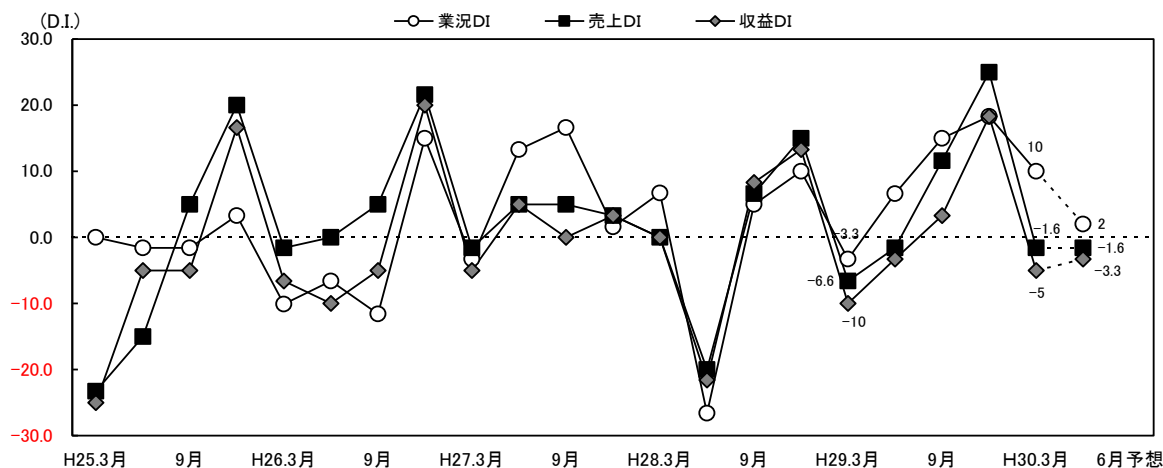
全域における業況DIは10.0となり、前期比8.3ポイント下降、前年同期比13.3ポイント上昇となっています。売上DIは▲1.6となり、前期比26.6ポイント下降、前年同期比5.0ポイント上昇となっています。収益DIは▲5.0となり、前期比23.3ポイント下降、前年同期比5.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が3.5となり、前期比21.5ポイント下降、前年同期比3.5ポイント上昇、大分地区が14.2となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比14.2ポイント上昇、県北地区が25.0となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期比75.0ポイント上昇となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは1.6となり、今期比8.4ポイント下降となっています。売上予想DIは▲1.6となり、今期比0.0ポイントと同水準となっています。収益予想DIは▲3.3となり、今期比1.7ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲14.2、大分地区が14.2、県北地区が25.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	16.9%
人手不足	16.1%
売上停滞・減少	13.0%
店舗・設備狭小・老朽化	7.6%
人件費増加	7.6%

最重要経営施策

販路拡大	20.1%
経費節減	18.4%
人材確保	14.2%
宣伝・広告強化	9.2%
店舗・設備改装	6.7%

経営者のみなさまの主なコメント

- 外国人旅行者の需要を実感している。東京オリンピックに向け、自社の付加価値を高め、選ばれる旅館を目指す。(旅館宿泊業)
- 経営者は若く、健康管理に気を使っている。(旅館業)
- 別府市内にある老舗美容室であるが、人口減少により売上が減少している。(美容室)
- 県外客が多いため、高速道路凍結によりキャンセルが多く発生した。(整骨院)
- 代表者が76歳と高齢であり、健康面における不安あることから、平成30年3月に息子に事業を譲渡する予定(宿泊業)
- 廃業予定(事業縮小傾向)(理容業)
- 今年の冬は寒くなる時期が遅れたため、衣替えに伴うクリーニング需要の出足が遅かった。(クリーニング業)
- 商店街にある大型スーパーが閉店したことで、商店街の人通りが少なくなった。今後の景気について不安があり打開策に頭を悩ませている。(菓子製造業)
- 当社は、積極的に地域活動に参加しており、地域の中心的存在である。遠方への出張も多く、フットワークも軽い。(ホテル)
- 代表者は、健康面に大きな問題はないものの、70代と高齢であるため、後継者の育成を検討している。(旅館業)
- 売上が減少傾向にあり資金繰りは厳しい状況。旅館売却も視野に入れているが、希望価格では折り合いがつかない。(旅館業)
- 新規契約先との取引が始まったとのことで前年より良い業績が予想される。(貸しおしぼり業)
- 代表者は40代で健康面は良好。業種が昼夜逆転しがちで生活が不規則なのが不安な点である。(カフェバー)

建設業

● 当期(1月～3月)の景況

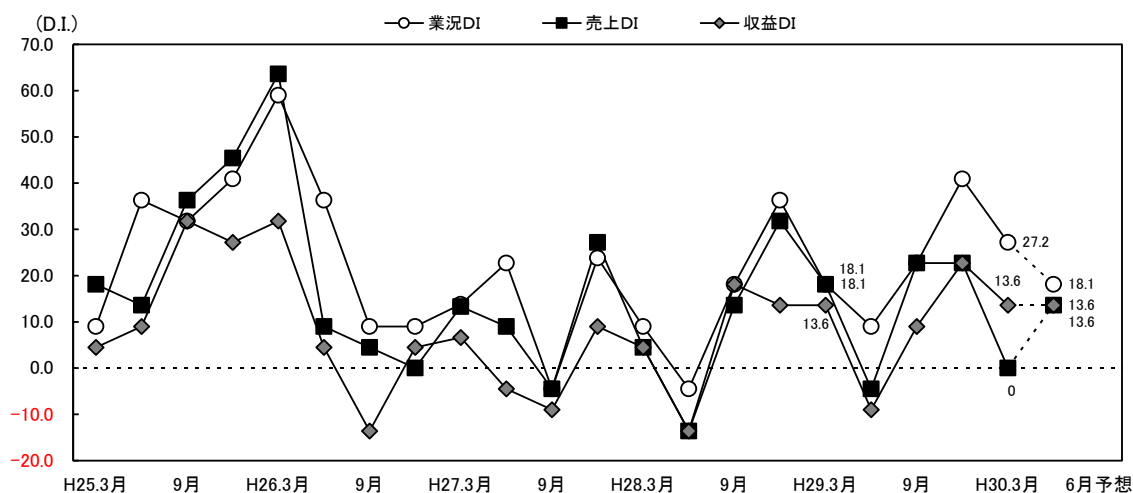
全域における業況DIは27.2となり、前期比13.7ポイント下降、前年同期比9.1ポイント上昇となっています。売上DIは0.0となり、前期比22.7ポイント下降、前年同期比18.1ポイント下降となっています。収益DIは▲13.6となり、前期比36.3ポイント下降、前年同期比27.2ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が60.0となり、前期比20.0ポイント下降、前年同期比20.0ポイント上昇、大分地区が22.2となり、前期比11.1ポイント下降、前年同期比0.0ポイントと同水準、県北地区が12.5となり、前期比12.5ポイント下降、前年同期比12.5ポイント上昇となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは18.1となり、今期比9.1ポイント下降となっています。売上予想DIは13.6となり、今期比13.6ポイント上昇となっています。収益予想DIは13.6ポイントとなり、今期比27.2ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が40.0、大分地区が22.2、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	23.5%
同業者間の競争激化	17.6%
材料価格の上昇	11.7%
売上停滞・減少	9.8%
下請の確保難	7.8%

最重要経営施策

人材確保	28.2%
技術力向上	15.2%
販路拡大	15.2%
経費節減	13.0%
情報力強化	8.6%

経営者のみなさまの主なコメント

- 主な受注は公共工事であり、工事の入金にかかるタイミングが遅くなったので、一時的に資金繰りがタイトになった。(建設業)
- 例年並みの売上・利益を確保できる見込み。新代表者の健康状態は良好である。(一般工事業)
- 売上・収益ともに変更なし。人件費の増加が、今後の経営課題である。(建設業)
- 業況は横ばいで推移している。(内装工事業)
- 後継者が不在のため、廃業予定(総合建設業)
- 建設業界全体に言えることだが、人員不足(技術者不足)に苦勞している。今後は、利益率の高い自社の建売住宅建築に力を注いでいく予定(総合建設業)

不 動 産 業

● 当期(1月～3月)の景況

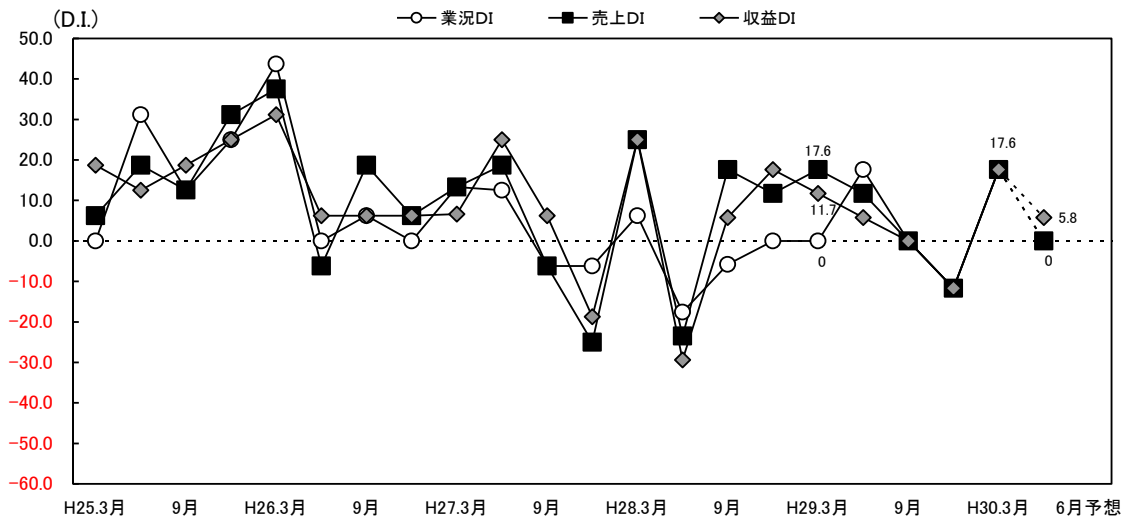
全域における業況DIは17.6となり、前期比29.3ポイント上昇、前年同期比17.6ポイント上昇となっています。売上DIは17.6となり、前期比29.3ポイント上昇、前年同期比0.0ポイントと同水準となっています。収益DIは17.6となり、前期比29.3ポイント上昇、前年同期比5.9ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が28.5となり、前期比28.5ポイント上昇、前年同期比14.3ポイント上昇、大分地区が▲16.6となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比0.0ポイントと同水準、県北地区が50.0となり、前期比75.0ポイント上昇、前年同期比50.0ポイント上昇となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは0.0となり、今期比17.6ポイント下降となっています。売上予想DIは0.0となり、今期比17.6ポイント下降となっています。収益予想DIは▲5.8となり、今期比23.4ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が14.2、大分地区が▲16.6、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	27.2%
商品物件不足	18.1%
大手企業との競争激化	12.1%
利幅縮小	12.1%
人手不足	9.0%

最重要経営施策

情報力強化	25.7%
販路拡大	20.0%
宣伝・広告強化	17.1%
経費節減	14.2%
提携先探す	8.5%

経営者のみなさまの主なコメント

- 役員・従業員に信頼できる人物がいるため、代表者に万が一のことがあっても、事業の継続は可能(不動産)
- 駅前通りに店舗を構えており、不動産情報を通りからでも確認できるように掲載している。(不動産代理業・仲介)
- 不動産仲介・売買で堅実に営業している。(不動産仲介売買)
- 家族経営のため、業務において、代表者が大半の役割を担っている。(不動産業)
- 平成28年9月に代表者変更を行い、平成29年9月決算における業況は堅調に推移。前代表者の支援もあり、事業承継は問題なく実施された。(土地建物売買仲介)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	1月～3月実績	△ 2.3	△ 6.4	△ 10.1	△ 48.0	10.0	27.2	17.6
	4月～6月予想	3.3	6.4	6.7	△ 16.0	1.6	18.1	0.0
売 上	1月～3月実績	△ 8.8	△ 19.3	3.3	△ 68.0	△ 1.6	0.0	17.6
	4月～6月予想	6.5	19.3	11.6	△ 4.0	△ 1.6	13.6	0.0
受 注 残	1月～3月実績	△ 7.5	△ 9.6	***	***	***	△ 4.5	***
	4月～6月予想	13.2	9.6	***	***	***	18.1	***
施工高	1月～3月実績	0.0	***	***	***	***	0.0	***
	4月～6月予想	18.2	***	***	***	***	18.1	***
収 益	1月～3月実績	△ 7.9	△ 3.2	1.6	△ 56.0	△ 5.0	△ 13.6	17.6
	4月～6月予想	3.7	3.2	15.0	△ 8.0	△ 3.3	13.6	△ 5.8
販売価格	1月～3月実績	2.8	3.2	5.0	△ 10.7	6.6	△ 4.5	11.7
	4月～6月予想	6.5	0.0	5.0	12.0	6.6	9.0	11.7
仕入価格	1月～3月実績	13.1	25.8	18.3	△ 8.3	10.0	4.5	23.5
	4月～6月予想	13.0	25.8	5.0	24.0	8.3	22.7	5.8
在庫	1月～3月実績	0.0	0.0	0.0	12.5	***	4.5	△ 23.5
	4月～6月予想	△ 5.2	△ 6.4	△ 3.3	△ 4.0	***	0.0	△ 17.6
資金繰り	1月～3月実績	△ 5.6	△ 6.4	△ 5.0	△ 12.5	△ 1.6	△ 9.0	△ 5.8
	4月～6月予想	△ 5.1	△ 19.3	△ 5.0	△ 4.0	△ 3.3	4.5	0.0
残業時間	1月～3月実績	0.0	0.0	△ 3.3	△ 16.6	0.0	18.1	11.7
	4月～6月予想	△ 1.9	0.0	1.6	△ 16.0	0.0	0.0	△ 5.8
人手状況	1月～3月実績	△ 24.3	△ 9.6	△ 16.6	△ 20.8	△ 35.0	△ 45.4	△ 17.6
	4月～6月予想	△ 27.4	△ 16.1	△ 23.3	△ 24.0	△ 38.3	△ 40.9	△ 11.7

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	1月～3月実績	1.1	0.0	3.8	△ 66.6	3.5	60.0	28.5
	4月～6月予想	0.0	0.0	11.5	△ 22.2	△ 14.2	40.0	14.2
売 上	1月～3月実績	△ 8.8	△ 12.5	3.8	△ 77.7	△ 17.8	60.0	28.5
	4月～6月予想	6.6	△ 6.2	19.2	33.3	△ 10.7	40.0	0.0
受 注 残	1月～3月実績	14.3	0.0	***	***	***	60.0	***
	4月～6月予想	4.8	△ 6.2	***	***	***	40.0	***
施工高	1月～3月実績	60.0	***	***	***	***	60.0	***
	4月～6月予想	40.0	***	***	***	***	40.0	***
収 益	1月～3月実績	△ 11.0	△ 6.2	3.8	△ 66.6	△ 25.0	20.0	28.5
	4月～6月予想	1.1	△ 12.5	23.0	11.1	△ 14.2	0.0	0.0
販売価格	1月～3月実績	4.4	0.0	3.8	△ 25.0	7.1	20.0	28.5
	4月～6月予想	3.3	△ 6.2	0.0	11.1	3.5	0.0	28.5
仕入価格	1月～3月実績	20.0	31.2	19.2	△ 12.5	17.8	40.0	28.5
	4月～6月予想	9.9	18.7	△ 3.8	11.1	7.1	60.0	14.2
在庫	1月～3月実績	△ 4.8	0.0	△ 3.8	12.5	***	0.0	△ 42.8
	4月～6月予想	△ 6.3	0.0	△ 7.6	0.0	***	0.0	△ 28.5
資金繰り	1月～3月実績	△ 6.7	△ 6.2	△ 3.8	12.5	△ 14.2	△ 20.0	0.0
	4月～6月予想	△ 7.7	△ 25.0	△ 11.5	22.2	△ 7.1	0.0	0.0
残業時間	1月～3月実績	3.3	0.0	0.0	0.0	3.5	20.0	14.2
	4月～6月予想	0.0	△ 6.2	0.0	△ 11.1	7.1	0.0	0.0
人手状況	1月～3月実績	△ 25.6	△ 6.2	△ 15.3	△ 25.0	△ 39.2	△ 60.0	△ 28.5
	4月～6月予想	△ 27.5	△ 6.2	△ 15.3	△ 22.2	△ 50.0	△ 60.0	△ 14.2

大分地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	1月～3月実績	△ 13.3	△ 40.0	△ 28.0	△ 70.0	14.2	22.2	△ 16.6
	4月～6月予想	6.0	40.0	4.0	△ 30.0	14.2	22.2	△ 16.6
売 上	1月～3月実績	△ 10.7	△ 40.0	3.8	△ 80.0	7.1	△ 22.2	0.0
	4月～6月予想	6.0	80.0	3.8	△ 30.0	3.5	11.1	16.6
受 注 残	1月～3月実績	△ 28.6	△ 40.0	***	***	***	△ 22.2	***
	4月～6月予想	21.4	40.0	***	***	***	11.1	***
施工高	1月～3月実績	△ 22.2	***	***	***	***	△ 22.2	***
	4月～6月予想	11.1	***	***	***	***	11.1	***
収 益	1月～3月実績	△ 7.1	0.0	0.0	△ 70.0	10.7	△ 22.2	0.0
	4月～6月予想	6.0	60.0	7.6	△ 30.0	7.1	11.1	0.0
販売価格	1月～3月実績	0.0	0.0	7.6	△ 20.0	3.5	△ 11.1	0.0
	4月～6月予想	7.1	20.0	11.5	10.0	0.0	11.1	0.0
仕入価格	1月～3月実績	4.8	0.0	19.2	△ 20.0	0.0	0.0	16.6
	4月～6月予想	11.9	20.0	11.5	30.0	7.1	11.1	0.0
在庫	1月～3月実績	1.7	0.0	3.8	0.0	***	22.2	△ 33.3
	4月～6月予想	△ 12.5	△ 20.0	△ 3.8	△ 20.0	***	△ 11.1	△ 33.3
資金繰り	1月～3月実績	△ 7.1	△ 40.0	△ 7.6	△ 40.0	7.1	0.0	0.0
	4月～6月予想	△ 2.4	△ 40.0	0.0	△ 20.0	3.5	11.1	0.0
残業時間	1月～3月実績	△ 2.4	40.0	△ 7.6	△ 40.0	△ 3.5	22.2	16.6
	4月～6月予想	0.0	40.0	3.8	△ 20.0	△ 7.1	11.1	0.0
人手状況	1月～3月実績	△ 25.0	△ 40.0	△ 15.3	△ 10.0	△ 32.1	△ 44.4	△ 16.6
	4月～6月予想	△ 33.3	△ 60.0	△ 30.7	△ 40.0	△ 28.5	△ 44.4	△ 16.6

県北地区

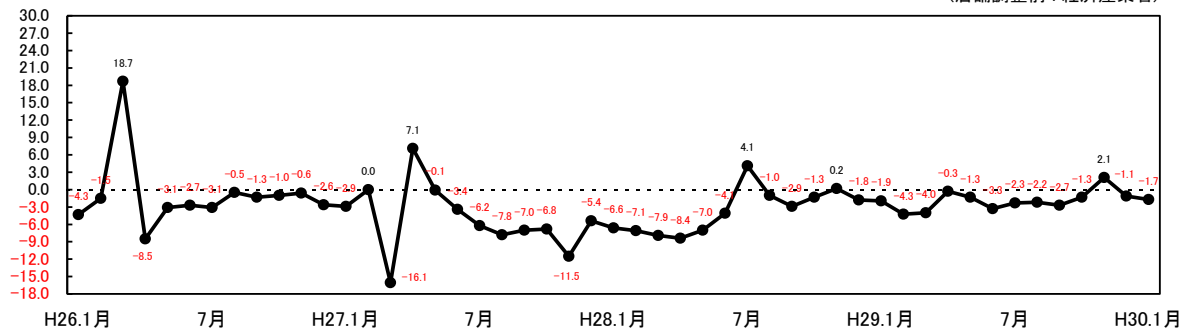
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	1月～3月実績	12.5	0.0	0.0	16.6	25.0	12.5	50.0
	4月～6月予想	5.0	0.0	0.0	16.6	25.0	0.0	0.0
売 上	1月～3月実績	△ 5.0	△ 20.0	0.0	△ 33.3	50.0	△ 12.5	25.0
	4月～6月予想	7.5	30.0	12.5	△ 16.6	25.0	0.0	△ 25.0
受 注 残	1月～3月実績	△ 16.7	△ 10.0	***	***	***	△ 25.0	***
	4月～6月予想	16.7	20.0	***	***	***	12.5	***
施工高	1月～3月実績	△ 12.5	***	***	***	***	△ 12.5	***
	4月～6月予想	12.5	***	***	***	***	12.5	***
収 益	1月～3月実績	△ 2.5	0.0	0.0	△ 16.6	25.0	△ 25.0	25.0
	4月～6月予想	5.0	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	△ 25.0
販売価格	1月～3月実績	5.0	10.0	0.0	16.6	25.0	△ 12.5	0.0
	4月～6月予想	7.5	0.0	0.0	16.6	25.0	12.5	0.0
仕入価格	1月～3月実績	15.0	30.0	12.5	16.6	25.0	△ 12.5	25.0
	4月～6月予想	22.5	40.0	12.5	33.3	25.0	12.5	0.0
在庫	1月～3月実績	5.6	0.0	0.0	33.3	***	△ 12.5	25.0
	4月～6月予想	8.3	△ 10.0	12.5	16.6	***	12.5	25.0
資金繰り	1月～3月実績	0.0	10.0	0.0	0.0	25.0	△ 12.5	△ 25.0
	4月～6月予想	△ 5.0	0.0	0.0	△ 16.6	△ 25.0	0.0	0.0
残業時間	1月～3月実績	△ 2.5	△ 20.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	4月～6月予想	△ 10.3	△ 11.1	0.0	△ 16.6	0.0	△ 12.5	△ 25.0
人手状況	1月～3月実績	△ 20.0	0.0	△ 25.0	△ 33.3	△ 25.0	△ 37.5	0.0
	4月～6月予想	△ 15.0	△ 10.0	△ 25.0	0.0	△ 25.0	△ 25.0	0.0

県内大型小売店販売額

平成30年1月の大型小売店販売額は90億円で、前年同月比1.7ポイント下降となっています。品目別では、衣料品が前年同月比4.0ポイント下降、飲食料品が1.1ポイント上昇、その他の商品が4.7ポイント下降となっています。

(%) 大型小売店販売額(前年同月比)

(店舗調整前：経済産業省)

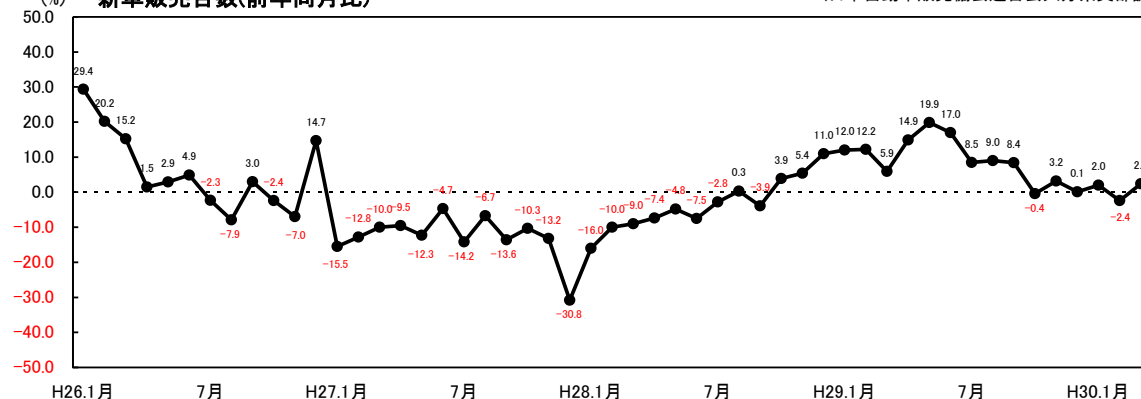


県内新車販売台数

平成30年3月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は6,873台で前年同月を2.4%上回りました。車種別では、普通乗用車が1,763台で前年同月比8.2%増、小型乗用車が1,637台で前年同月比7.7%減となりました。また、軽四輪車の合計は2,993台で前年比4.0%上回りました。

(%) 新車販売台数(前年同月比)

(日本自動車販売協会連合会大分県支部調)

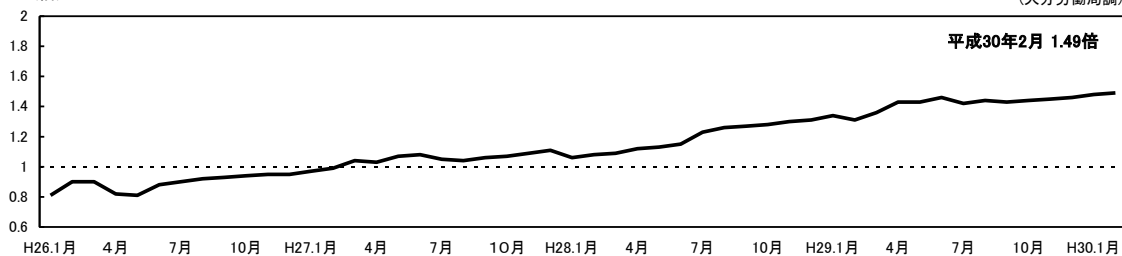


県内有効求人倍率

平成30年2月の有効求人倍率は、前月を0.01ポイント上回る1.49倍となりました。地域別でみると、大分管内1.76倍(対前月+0.07ポイント)、別府管内1.30倍(対前月+0.01ポイント)、中津管内1.45倍(対前月▲0.06ポイント)と高水準を維持しております。

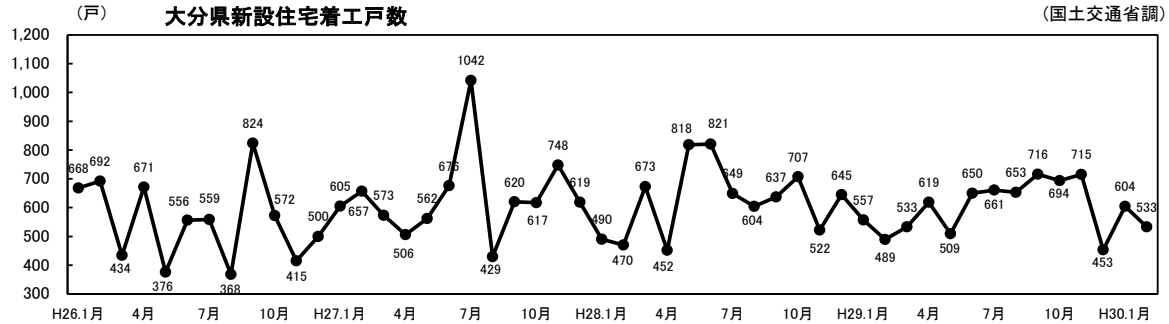
(倍) 有効求人倍率

(大分労働局調)



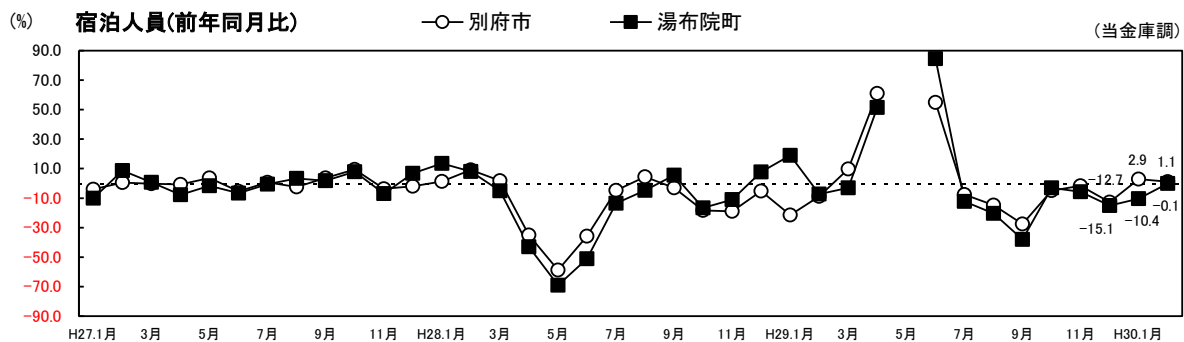
県内新設住宅着工戸数

平成30年2月の住宅着工戸数は533戸でした。そのうち、持家は214戸、貸家は145戸、分譲住宅は153戸となっています。



観光動向

平成30年2月の前年同月比宿泊人数は、別府地区で1.1ポイントの上昇、湯布院地区で0.1ポイントの下降となりました。
 ※宿泊人員(前年同月比)の折れ線グラフでは、29年5月のデータを省略しております(28年5月は震災の影響により宿泊人員が大幅に落ち込んだため)。29年5月の前年同月比宿泊人員データは、別府地区+143.7%、湯布院地区+170.4%となっております。



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店の調査によると、平成30年1月の県内の企業倒産件数は4件で2億8千9百万円、2月は1件で8億4千8百万円、3月は4件で77億6千5百万円(大分観光開発㈱の64億8百万円を含む)となっています。

